

## きらきら



### 新年度から1ヶ月！

木々の緑も美しく、さわやかな季節となりました。

新学期がスタートし、早いもので1ヶ月が経とうとしています。クラブでの生活にも慣れ、子ども達もリズムを掴めてきたようです。

1年生は、クラブに帰ってくると学校での様子をたくさん話してくれます。今は、何でも楽しく面白く、新しい発見を喜んでいるようです。

2年生以上の子も、新しいことをうれしそうに報告してくれたり、「仲の良いお友達とクラスが別れちゃった～」と嘆いたり、帰って来るとおしゃべりが止まりません。きっと、刺激いっぱいの新学期を過ごしているのでしょうね。

この先は、緊張からの疲れもが出てくることでしょう。引き続き、子ども達の体調に気をつけ、心に寄り添いながら楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

### 遊びに夢中！

4月の早帰りの時間をたっぷり使い、外では学年問わず一緒に“鬼ごっこ”をしたり、“ドッチボール”をしたりして、元気に走り回っています。その中でも、1年女の子に人気なのは、一輪車。座るだけでも精一杯だったのに、いつの間にか一人で乗れるようになる運動能力の高さには驚いてしまいます。大人には真似できませんね。部屋ではカードゲームや塗り絵、ダンボールで工作などをして、お友達と好きな「遊び」を見つけながら楽しく過ごしています。

子どものやる気・元気は、“楽しさ”から始まります。時間の概念が未熟な子どもたちは、目の前の“今”が楽しいかどうか、大きく成長する鍵となるのでしょうか。今、楽しいことを子ども達がたくさん体験できるクラブとなるように、職員も工夫しながら成長を見守っていきます。

### ありがとうございました

<4月28日の引き渡し訓練>

当日はお忙しい中、訓練にご対応いただきありがとうございました。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から訓練をすることで、いざという場面で適切に対応することができることでしょう。今後も保護者の皆様と、子ども達の安全を守っていけるよう防災対策に取り組んでいきますので、ご協力をよろしく願います。

### 5月の予定

3日(月) 憲法記念日

4日(火) みどりの日

5日(水) こどもの日

8日(土) 懇談会

17日(月)～21日(金)

新入所者面談(希望者)

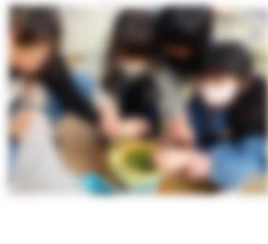
25日(火) お誕生日会



## 連絡・お願い

### ～懇談会について～

お子様の様子を伝える情報交換の場として、懇談会を実施予定でしたが今回はコロナの感染状況から判断し、中止させていただきます。そこで当日、お見せする予定でした写真を掲載いたしますのでご覧ください。



### ～帽子を被ります～

5月から10月の間は外遊びをする際に熱中症対策の観点から帽子の着用をしますので、必ずご準備ください。また、帽子はクラブに置いておいても構いませんが、週末には持ち帰りますので、週明けに持参してください。

### ～「たのしーと」「工作」の曜日が変わります～

5月から、楽しく学べる教材「たのしーと」は木曜日から火曜日、「工作」は金曜日から木曜日と変更させていただきます。今後も“わくわく”する内容で子ども達が楽しめるよう企画していきます。

## コラム⑱ 『GIGA は MEGA よりすごいのか？ 学校 ITC 編』

このコラムは、開所当初から書いている今田のコラムです。元小学校の教員であったことや学童保育に携わっている事を通し、子どもの発達や小学校の様子について関心をもってもらえるように書いていますので、お読みいただくと幸いです。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、学校現場も急速な変化を求められています。昨年度は行事の中止や延期、縮小という対応が多く取られました。また、一人一台 ITC 端末を配布し、学習に役立てる動きも広がっています。この印西市でも、昨年度の冬頃から各学校で ITC 端末が用意され、「学校で使ったよ!」という子どもたちの声も聞いています。(各学校の HP でも紹介されていますね!)

この施策を「GIGA スクール構想」といいます。ただし、GIGA は MEGA より早い!容量が多い!!ということではありません。GIGA とは Global and Innovation Gateway for All を略したもので、「GIGA スクール構想」とは、誰一人取り残すことなく、子ども達一人一人に個別最適化され創造性を育む教育 ICT 環境を実現する施策です。はじめは休校期間中においてもオンラインでの学習ができるように目指したのですが、引き続き学校現場でも活用しようとしています。

個人的には、この施策はより活用ができるように広がってほしいと思っています。ITC 端末を利用すると、個別にスキルの向上や知識の定着を図る機会が多く確保でき、苦手なところは繰り返し取り組み、得意なことはより発展的な課題に取り組むことができるからです。一方、友だちと意見を出し合う中で考え膨らませる場も、子どもたちの能力を大きく伸ばすことができるので、10年後には、学校の授業の風景が異なってくるのでは、と少しワクワクしています。

しかし、課題も多くあります。全ての先生が ICT 端末を使いこなせることもないと思いますし、1000人が使用しても問題ない通信環境を作るということは、多くの投資と人手が必要になります。このあたりは、さらなる抜本的な変化が学校には求められると思います。